

令和 5 年度第 1 回 社会教育委員会議
議 事 要 旨

1. 開催日時：令和 5 年 7 月 11 日（火） 14:00-15:00

開催場所：八尾市立青少年センター 3 階 集会室

出席委員：今岡委員・二宮委員・田中委員・村尾委員・角田委員・大槻委員
畑委員・中道委員・赤松委員・山根委員（順不同）

2. 議事案件

1 令和 4 年度第 4 回社会教育委員会議録の承認について

2 令和 5 年度事務事業概要について

3 報告事項について

【生涯学習課】

① 「第 28 回八尾市こども会親善つな引き大会」の開催について

② 青少年センター講座の実施について

【八尾図書館】

③ 八尾市立図書館の利用状況等について

【観光・文化財課】

④ 八尾市の文化財施設のイベント等について（令和 4 年 7 ～ 9 月）

4 その他

・近畿地区社会教育研究大会[滋賀大会]について

3. 意見交換の概要（○：委員、●：事務局）

1 令和 4 年度第 4 回社会教育委員会議録の承認について

※全委員異議なし

2 令和 5 年度事務事業概要について

○生涯学習課所管事業の「生涯学習人材バンク推進事業」の「まちのなかの達人（人材バンク）」について、市民が市民のために活躍するための重要な取り組みと評価しているが、現在の活用状況と課題について教えてほしい。

●現在文化系・スポーツ系別に総勢 161 名の登録があり、冊子を活用しながら、市民の要望に応じていきたいと考えているが、登録者の高齢化などによる登録者数の減少などの課題もある。目に留めていただく機会づくりや活用事例の P R など、活用の工夫についても検討してまいりたい。

○全体を見ると、こどもに焦点を当てた施策が充実としているという印象を受ける。例えば、安中青少年会館において、幅広くバラエティに富んだ事業展開をしている。親と子という視点での講座も充実している。また、文化・スポーツ振興課所管の「体育施設整備事業」において、福万寺町市民運動広場南面にドッグランを整備する点について、動物と交わる場所が少ないという相談も受ける中でペットと飼い主が遊ぶ場所が作られることは評価できる。また、昨年度生涯学習センター内に開設したこども総合支援センター「ほっぷ」で、若い親

御さんが子どもと交わっている姿を見かけるが、このような良いところをもっと市民に知らせていただきたい。

- 両青少年会館では、不登校児への支援や子どもの居場所づくりに努めており、今後もこの事業をすすめてまいりたい。
- 今後整備予定のドッグランについて、公園の敷地内を有効活用し整備することとなった。今年度に工事を行い、令和6年度に開設予定である。市内の北寄りに位置するが、駐車場も完備しているので幅広く市民の方にご活用いただきたい。
- 「ほっぷ」にある「あそびのひろば」は、親子にご活用いただくとともに、利用者の方があわせて相談窓口を利用されるケースもあり、「ほっぷ」への相談件数も増えてきている。今後も周知等を広く図っていきながら、さらに子育て支援を充実させていきたい。
- 生涯学習課事業の「生涯学習推進事業」について、「地区生涯学習推進事業」の定期講座の応募者数は、コロナ禍を経てどうなったか。
- 定期講座の応募者については、コロナ禍以降の令和5年度についても若干ではあるが増えている。
- 不登校児が増えている中で、青少年会館などでも子どもの居場所づくりに取り組んでいるが、今後もみんなで支えていくことを願う。
- 子どもの居場所づくりについては、昨年まで週1回で試行的に実施していたが、今年度より平日に本格的に実施している。
- こども若者政策課所管の「こども・若者育成支援事業」に記載のとおり、課題解決に向けて市民が主体的に取り組み、それに対して行政が支援するという点が大切と考える。
- 「まちなかの達人」のような、自立的な市民を支えるという、育成面での支援が大事になってくる。方法としては、例えば、生涯学習的な講座や研修を行いながら、その「種まき」を行っていけばよいと考える。
- 現在、学んだことを地域に還元するという趣旨でも、生涯学習センターやくらし学習館などで各種講座を実施している。また、地域で子どもを支えるという趣旨で「放課後こども教室」を実施し、地域で子どもたちに様々な体験をできるように努めている。

4 報告事項について

※報告案件については、全委員意見なし。

- ・委員より、くらし学習館が実施予定の「こども消費者教室」「第61回消費者大会」について、説明があった。

5 その他

- ・近畿地区社会教育研究大会[滋賀大会]について、事前に参加意向を確認した結果、委員3名の参加を決定した。参加委員には、後日当日の予定等について連絡する旨説明した。